

座談会：今語るリチ先生のこと

日生ビルレストラン〈アクトレス〉壁画制作を中心に



日生劇場レストラン「アクトレス」内部 1963年8月竣工

【座談会メンバー】

1965年京都市立美術大学
工芸科デザイン専攻卒業生（50音順）

河原林裕二氏

元広告代理店電通勤務

木村英輝氏

キーヤンスタジオ主宰

越田英喜氏

コシダ・アート主宰

細見保彦氏

元広告代理店電通勤務

日時：2024年4月13日（土）13:00～16:00 / 開場 12:30

会場：京都市立芸術大学 講義室 8

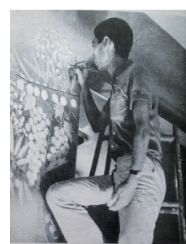
定員：30名 事前予約（左下のQRコードよりお申し込み下さい。）

主催：京都市立芸術大学芸術資源研究センター

企画：「京都美術の歴史学（京都芸大の1950年代）」プロジェクト



アクトレス壁画製作中の学生たち



上野リチ晩年の作品、銀地に鳥や草花、果物を配した日生劇場のレストラン〈アクトレス〉（1963年竣工）の壁画は、リチの集大成ともいべき大作として昨今広く紹介されていますが、リチはデザインの一部を示すのみで、実際の制作は当時の教え子京都市立美術大学の学生4名を選び委ねています。本座談会では、制作に当たってかなりの自由裁量も認められたという担当4氏に現場の詳細やこの作品についてのそれぞれの思いを話し合ってください。

企画コーディネーター：京都市立芸術大学 芸術資源研究センター客員研究員 牧田久美

謝辞：本企画は公益財団法人DNP文化振興財団の助成を受けたものです